

NUCLEAR FREE NOW
2012. 12. 16記者リリース

Nuclear Free Now 脱原発世界会議2
「原発のない未来をつくるための東京宣言」を發表し閉幕
2日間で5500人以上が参加

12月15～16日の2日間にわたり行われた「脱原発世界会議2」をはじめとする「Nuclear Free Now」は、東京・日比谷でのすべてのプログラムを終えました。「脱原発世界会議2」は、まとめの会にあたり、「原発のない未来をつくるための東京宣言」を実行委員会共同代表名にて發表しました。

東京宣言はまず、福島第一原発の事故が収束とはほど遠い現状であることを無視して日本政府が「原子力安全に関する閣僚会議」を福島で開催したことを批判しています。そして、2日間にわたる国際的な専門家らの議論をふまえ、①原子力規制当局を市民が規制していくメカニズムの確立、②放射線に関する安全基準を「年20ミリシーベルト」から「1ミリシーベルト」に戻すべきこと、③「被災者支援法」に基づく支援計画の策定を急ぐこと、④省エネと再生可能エネルギーが普及する地方分権型社会の実現を求めています。また、「脱原発をめざす首長会議」のような自治体ネットワーク強化、脱原発基本法の制定、国際連帯行動の必要性を訴えています。

東京宣言はさらに、総選挙後に生まれる日本の政権は、現政権が作った「2030年代までの原発ゼロ」を前倒して実行すべきであり「間違っても後戻りさせてはならない」と指摘しています。

Nuclear Free Now の東京・日比谷での一連の行事には、2012年12月15～16日の2日間で、9カ国25人からの海外ゲストを含む、のべ5500人以上が参加しました。

原発のない未来をつくるための東京宣言

日本語：http://npfree.jp/download/20121216_TokyoDeclaration_jp.pdf

英語：http://npfree.jp/download/20121216_TokyoDeclaration_en.pdf

(補足：郡山での関連行事の結果に関する記者会見は、12月17日(月)16:00～ 福島県教職員組合郡山支部にて行われます。)

■■問い合わせ:

Nuclear Free Now 実行委員会 <http://npfree.jp>

080-3488-0317(くさふか)

03-3363-7561(事務局・ピースボート気付け)